
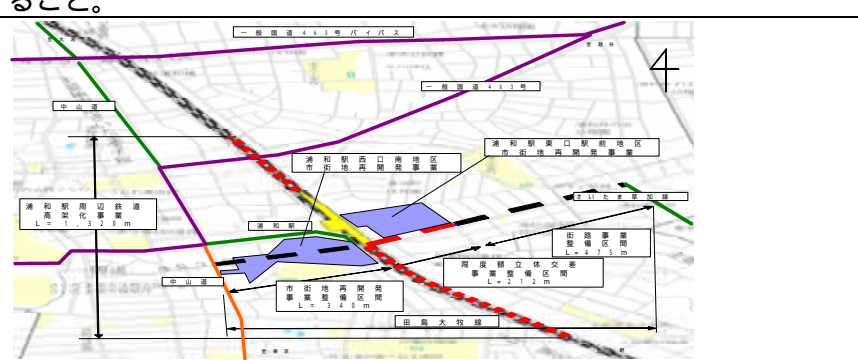


再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：都市・地域整備局街路交通施設課
担当課長名：松井 直人

事業名 <small>としげいかくどうろ たしまおおまきせん うつのみや たかさきせん</small> 都市計画道路 田島大牧線（JR宇都宮・高崎線、 <small>けいひんとほくせんこうかかじぎょう</small> 京浜東北線高架化事業）	事業区分	街路	事業主体	さいたま市
起終点 自：埼玉県さいたま市浦和区東高砂町 <small>うらわくひがしたかさごちょう</small> 至：埼玉県さいたま市浦和区高砂 <small>うらわくたかさご</small>			延長	0.2km
事業概要 ：本事業は、JR京浜東北線、宇都宮・高崎線の浦和駅付近の約1.3kmにおいて鉄道を高架化することにより田島大牧線を拡幅整備し、都市内交通の円滑化を図るとともに、高架下空間の創造により、分断された市街地の一体化による都市の活性化を図るものである。				
H11年度事業化	H10年度都市計画決定	H11年度用地着手	H15年度工事着手	
全体事業費		384億円	事業進捗率	64%
			供用済延長	0km
計画交通量 ：16,000～18,000台/日				
費用対効果分析結果	B/C ： (事業全体) 1.3 (残事業) 4.2	総費用 ：(残事業)/(事業全体) 120/385億円 (事業費：120/385億円) (維持管理費：0.09/0.09億円)	総便益 ：(残事業)/(事業全体) 501/501億円 (走行時間短縮便益：288/288億円) (走行経費減少便益：212/212億円) (交通事故減少便益：0.87/0.87億円)	基準年 ： 平成20年
感度分析の結果 ・交通量、事業費等の事業評価の変動を想定しても、費用便益分析の結果に問題なし。				
事業の効果等 ・浦和駅周辺の慢性的な渋滞を緩和し、円滑な道路交通網の確保が見込まれる。 ・東西市街地の均衡ある発展が図られる。(再開発事業と連携したまちづくりが見込まれる。)				
関係する地方公共団体等の意見 ・県都でもある、さいたま市の浦和都心を整備するための主要な事業と位置づけており、事業の推進を強く望んでいる。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・平成15年3月、浦和駅西口南地区第3地区市街地再開発事業の竣工。平成18年3月同第4地区の竣工。 ・平成19年10月、浦和駅東口駅前地区市街地再開発事業の竣工。				
事業の進捗状況、残事業の内容等 ・用地買収は平成17年度までに完了。道路整備は鉄道交差部を除き完了。鉄道高架は4本中、2本完了。 ・高架化工事を平成22年度末までに完了してから、残りの道路整備工事を実施する。				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ・用地買収に予定より時間を要したため、平成18年度に事業期間の延伸を行ったが、現在事業は順調に推移している。今後は予定工期の完了を目指し、鉄道高架化工事及び道路整備工事を鋭意推進する。				
施設の構造や工法の変更等 ・仮設物（土留め工、搬入路など）の見直し、夜間作業の削減、再生材の利用などにより、コスト縮減を図っている。				
対応方針		事業継続		
対応方針決定の理由		さいたま市において、浦和都心の駅周辺東西地域を結ぶ重要な事業であることから、早期完成に向けて努力すること。		
事業概要図				
				

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。